

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所フルーツバスケット				公表日	2025年 2月 28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8			引き続き、取り組みを進めます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			引き続き、法令で必要とされる配置数に加え、お子さまの人数・特性に応じて、指導員又は保育士を追加配置していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1		引き続き取り組みを進め、より良い環境が作れるよう努めてまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			引き続き、取り組みを進めます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			引き続き、取り組みを進めます。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	保育士、セラピストなど各職種が参加したうえで活動プログラムの検討を行っています。活動プログラムは、実施当日に勤務する職員全員で事前に打ち合わせのうえ、当日中に振り返りを行い、お子さまの様子を踏まえて次の課題設定や改善を行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		引き続き、取り組みを進め、全職員が周知できるよう努めてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			引き続き、取り組みを進めます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1		第三者による外部評価は、実施しておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	自治体等が主催する研修を中心に、必要な研修を案内しています。	引き続き、職員の要望も踏まえつつ、研修の検討・周知に努めます。	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			引き続き、取り組みを進めます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8			引き続き、取り組みを進めます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			引き続き、取り組みを進めます。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			引き続き、取り組みを進めます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			引き続き、取り組みを進めます。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			引き続き、具体的に分かりやすい個別支援計画を作成します。	

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		保育士、セラピストなど各職種が参加したうえで活動プログラムの検討を行っています。活動プログラムは、実施当日に勤務する職員全員で事前に打ち合わせのうえ、当日中に振り返りを行い、次回の改善につなげています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		小集団療育について、身体をつかう活動や製作活動などの取り組み内容にお子さまが興味を持てるよう、工夫し計画しています。引き続き、お子さまの特性や課題、興味関心も踏まえつつ、効果的な活動プログラムを計画します。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8			引き続き、取り組みを進めます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			引き続き、取り組みを進めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1		全職員が情報共有できるよう引き続き、取り組みを進めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			引き続き、取り組みを進めます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的なモニタリング→個別支援計画の見直しを実施しています。	引き続き、取り組みを進めます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		お子さまの療育内容や課題に応じて、適切な職員が対応しております。	引き続き、取り組みを進めます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			引き続き、取り組みを進めます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2	お子さまの通われている保育所等とは、保護者さまのご要望や必要に応じて、支援内容等の情報共有を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2	保護者様のご要望や必要に応じて、支援内容等の情報共有は行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	3	嘱託医も含め、専門機関には適宜助言を仰いでいます。また、研修の案内があれば、積極的に参加を検討しています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	1		地域交流については、限られた療育時間の中で実施が難しく、また保育所等との併行通園でご利用される方が大半であることから、現状では実施していません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			引き続き、取り組みを進めます。

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	6		座談会形式でのペアレント・トレーニングなどの実施は現在行っておりませんが、今後検討してまいります。お子さまの送迎時やお電話等で職員から保護者さまに必要なお声かけをしています。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			引き続き、契約時に加え、お迎え時やお電話等で保護者さまへの丁寧な説明に努めます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			引き続き、取り組みを進めます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		作成した個別支援計画の内容を説明し、保護者さまの同意を得た支援内容を実施しています。	引き続き、丁寧な説明に努めます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		お子さまの送迎時やお電話等で職員から保護者さまに対して必要な情報提供やお困りの点等を聞かせていただいております。	引き続き丁寧な対応に努めます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	6		現在父母の会や保護者会等は開催を予定していませんが、今後茶話会などを検討してまいります。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			引き続き、取り組みを進めます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		活動概要等については、掲示・口頭・連絡帳・LINEを活用し、保護者さまに発信しています。	情報発信の工夫については、引き続き検討します。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		「個人情報保護方針」に則り、利用目的に沿った個人情報の取り扱いを徹底しています。	引き続き、厳重な取り扱いに努めます
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		お子さまの送迎時やお電話、LINE等のうち、最適な手段でご連絡しています。	引き続き、保護者さまとの意思疎通や情報伝達にあたり工夫します。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4		現在行っていませんが、検討していきたいと思えます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	2		引き続き必要な訓練を継続するとともに、情報発信のあり方については、より体制を強化できるよう検討を進めます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を実施しています。	引き続き必要な訓練を継続するとともに、情報発信のあり方については、より体制を強化できるよう検討を進めます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	2		すべての職員に周知するよう努めてまいります。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	契約時などに、全てのお子さまについて、既往歴やアレルギーの有無を確認しています。対応が必要な場合は、保護者さまと相談しながら、適切な方法を検討・実施しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			引き続き、取り組みを進めます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		引き続き、取り組みを進めます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1	ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハット報告書を作成・保管するとともに、職員間でも情報共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		法令を遵守した虐待防止体制を整備し、研修も実施しています。また、気づいた点は職員相互で声かけを行うなど、適切な対応を行っています。	

53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	6		現在、対象児がないため行っていません。利用に応じて周知徹底していきたいと思います。
----	--	---	---	--	---